



▲1階のロビーコンサート

健康文化センター20周年！

ほほえみプラザ

6 / 9
土

健康文化センターが20周年を迎え、「ほほえみまつり」が開催されました。同センターは、平成8年に健康づくりの中核拠点、健康と福祉の交流拠点、歴史と文化のふれあい拠点として創立され、多くの皆さんが利用しています。

各階でおこなわれた催し物は、大勢の人でにぎわいました。



小児科の先生の話しを聞く会

北保育園

5 / 28
月

大口町NPO登録団体まみーほけつとが江南厚生病院 副院長兼こども医療センター長 西村直子さんをお迎えして「小児科の先生のお話を聞く会」を開きました。

乳幼児によくある病気や、気をつけなければならぬ事故やケガなどについての対処法、注意点などを教えていただきました。講演が終わっても質問を受け付けてくださり、長い列ができていました。

「とても勉強になりました。急な発熱やケガをしたとき、あわてず冷静に対処できればと思います」と参加者。



癒しの花だん作り

北地域自治組織

6 / 2
土

北地域自治組織 環境部会が中心となり、さくら総合病院近くの空地のふれあい花だんに夏秋用の花の苗を植えました。

苗は5種類350株が用意され、参加した約20名のみなさんが見栄えなどを考えながら一つ一つ丁寧に植えました。

「花だんの横を通る道は交通量が多い道路です。ここを通る方が、地域の皆さんと一緒に植えた色とりどりの花を見て少しでも癒されればと思います」と、環境部会の中野部会長。





▲おやつのカロットケーキ



子ども向け国際理解講座「世界の紙芝居と遊び」

南児童センター

5 / 12
土

南児童センターで、多文化共生しインボーと大口町主催の「世界の紙芝居と遊び」が催されました。

外国の文化に親しみ、理解を深めることで、お互いの生活や文化を知る目的で毎年おこなわれています。

江南市国際理解交流協会「ふくらの家」協力で、ブラジルの言葉、クイズや紙芝居を使って文化を学びました。他にもブラジル、韓国、モンゴル、ネパール、それぞれの国の文化の中で受け継がれてきた遊びを実際に体験しました。7月7日(土)、西児童センターでもおこなわれます。



▲韓国のゲーム



団体運営基礎知識講座

ほほえみプラザ

5 / 22
火

大口町には、まちづくり活動団体を応援する支援事業がたくさんあります。今回、大口町NPO法人まちねっと大口と大口町が、申請対象となる団体が増えたことや、「元気なまちづくり事業」と「まちづくり道具箱整備事業」の申請時期の変更のお知らせを兼ねた講座を開きました。

まちの制度を受けた団体の体験談や事業内容の紹介を聞き、今後の制度の活用について意見交換をしました。これを機に、さらなるまちの発展につながるようですね。



おおぐち元気戦隊ダッシュマンが愛知県交通安全大使に

大口町役場

5 / 17
木

役場で愛知県交通安全大使委嘱状伝達式がおこなわれ、江南警察署の堤署長から委嘱状が手渡されました。

昨年、町内での交通事故による死者は2名で、平成30年1月から4月までの人身事故発生件数は50件です。

また、物損事故は昨年同時期よりも増加しています。堤署長が「交通事故を1件でも減少させるように啓発活動を行ってほしい」と話されました。